

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-131	20-015	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名（原題／訳）		
<p>The prevalence and associated factors of alcohol use among pregnant women attending antenatal care at public hospitals Addis Ababa, Ethiopia, 2019</p> <p>エチオピアのアジス・アベバの公立病院において出産前ケアに参加した妊婦の飲酒状況およびその関連因子、2019年</p>		
執筆者		
Tesfaye G, Demlew D, G/Tsadik M, Habte F, Molla G, Kifle Y, Gebreegziabhier G.		
掲載誌		
BMC Psychiatry. 2020 Jun 29;20(1):337. doi: 10.1186/s12888-020-02747-1.		
キーワード		PMID
飲酒、妊婦、エチオピア		32600291
要 旨		
目的：		
<p>妊娠期の飲酒は公衆衛生上の大きな問題となっており、最終的には新生児に影響を与える。近年の研究結果は妊婦にとって安全な飲酒量および飲酒時期は無いことを示唆している。妊婦の飲酒は大きな問題であるにも関わらず、エチオピアを含むサハラ砂漠の南側の地域では少数の科学誌しかその重要性を付記していない。本研究の目的はエチオピアのアジス・アベバの公立病院で出産前ケアに参加した妊婦の飲酒状況およびその関連因子を調査することである。</p>		
方法：		
<p>アジス・アベバの公立病院で2019年5月7日から6月6日に行われた横断研究であり、系統的無作為抽出法にて合計585名の妊婦を抽出した。アルコール依存症スクリーニングテスト（AUDIT）を用いて飲酒頻度を評価し、変数は図表にて示した。変数間の関係性は多変量二項ロジスティック回帰分析にて検討した。統計学的有意差は $P < 0.05$ とし 95%信頼区間（CI）を示した。</p>		
結果：		
<p>585名を本研究に取り込み、回答率98.6%であった。妊婦の飲酒率は37.1%（95%CI 3.32-41）であった。妊婦の飲酒と関係していた因子は公式教育の欠如〔調整オッズ比(AOR) 3.22、95%CI 1.72-6.02〕、妊娠前からの飲酒〔AOR 3.16、95%CI 2.03-4.91〕、配偶者の飲酒〔AOR 3.43、95%CI 2.21-5.32〕、低いソーシャルサポート〔AOR 3.16、95%CI 1.88-5.31〕であった。</p>		
結論：		
<p>本研究では妊婦の飲酒率は他の研究結果より高かった。また、飲酒率は公式教育の欠如、妊娠前からの飲酒、配偶者の飲酒、低いソーシャルサポートと大きく関係していた。本結果は妊婦に対する早期からの飲酒および諸問題を管理する必要性を示している。</p>		